



平成29年 6月

Vol. 32



発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部会
印刷／(株)山口県農協印刷

平成29年度 名田島自治会連合会総会

4月13日（木）、名田島地域交流センターにおいて定例の名田島自治会連合会総会が開催されました。

総会構成員46名中、43名（うち、委任状8名）の出席で総会成立宣言がなされ、佐分利隆会長のあいさつ後に議事に入り、出席総会構成員の中から伊藤米秋代議員（名田島地区民生委員児童委員協議会長）が議長に選出され、上程された4議案の審議が行われて、全議案が原案どおり承認されました。



会長あいさつ
佐分利 隆氏



議長
伊藤 米秋氏



代議員のみなさん



採決のようす



平成二十九年度開始に当たって

会長 佐分利 隆

今年度からもう一期、自治会連合会長をつとめることになりましたので、一言ごあいさつを申し上げます。

地域全体で出来ることから対策に着手してゆくことが、当面の重要課題ではないでしょうか。

平成二十七年国勢調査によりますと、名田島地域の人口は一、二九二人となり、ついに一、三〇〇人ラインを割り込みました。名田島の人口減少は、毎年の「やまぐち車座トーク21in名田島」の際お示した人口推計よりも、5年速いペースで進行しています。この人口減少のペースを少しでも遅くするように、名田島

今年が最終年となる「第二次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」策定時には、こう急速に人口減少が進むとは予想していませんでした。この点は率直に反省して、第三次計画には対応策をしっかりと折り込まなければならぬと考えています。

今年度は、現行の「第二次計画」の実施状況をしっかりと評価し、新たな地域課題も収集して、よりよい「第三次計画」の策定を進めていかなければなりません。

策定に当たっては、出来るだけ多くの方のお知恵を拝借したいので、小さなことと結構ですから、名田島地域の存続と発展に向けたアイデアやご意見がありましたら、遠慮なく自治会連合会にお申し出くださるようお願いいたします。

平成29年度 集落自治会長紹介

島上	伊藤 馨	島下	石原 泰広	東開作	田中 衛	向山	上末永 和文	向山	中春樋 勉	向山	下廣島 幸夫	新開作	東金子 一郎	新開作	西秋本 安男	新開作	沖藤井 精二	昭和	東岡 静政	昭和	西山本 幹雄	西開作	上福田 賢治	西開作	下田中 賢治
----	------	----	-------	-----	------	----	--------	----	-------	----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	----	-------	----	--------	-----	--------	-----	--------



役員一同



事務局員二同

名田島地域交流センターあいさつ

所長 横沼 浩

今年3月、市の嘱託職員である「地域おこし協力隊員」の藤岡臣（ふじおかしん）さん（34歳・男性）が名田島に移住され、地区民として、自治会活動や地域行事に積極的に参加されています。勤務地は小郡総合支所ですが、名田島の皆さんには何かとお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

今、名田島では、若い世代の意見交換の場「名田島未来フォーラム」や女性有志による「茶話会」、「中学生ボランティア」による地域貢献などなど、将来を担う世代の育成につながる様々な活動が進みつつあり、このことは、急激な少子高齢化が進む名田島にとって大変有意義だと思っています。

名田島自治会連合会では、こうした流れをさらに加速させるために定住促進を重要なテーマとして様々な取り組みを実践されており、地域交流センターは、そのサポート的役割をしっかりと果たしていかなければなりません。

今年度の名田島地域交流センターは、行政窓口担当の義永栄一（新任）、中谷貞子（3年目）、地域担当の田中雅子（2年目）、濱田智志（3年目）、西村洋子（臨時職員）、所長の横沼浩（3年目）という体制です。

今年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



地域おこし協力隊藤岡隊員と交流センターのみなさん

第59回 名田島地区民体育大会

4月23日（日）、名田島小学校グラウンドで恒例の名田島地区民体育大会が地域で守り育てている芝生の上で開催されました。

地区内外の未就学児による「かけっこ」、5人が綱でそれぞれの胴体を結びラグビーボールを蹴ってコーンを回りリレーする「協力一致」などの様々な競技を通じて親睦を深めました。



選手宣誓



優勝（昭和）



準優勝（岡山）



タイ王国から再び名田島にようこそ

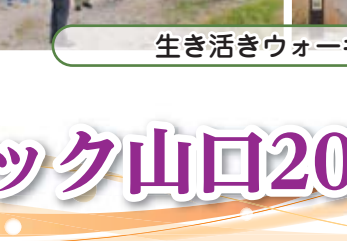
4月16日（日）、タイ王国からの旅行者を名田島の家庭でおもてなしするイベントが行われました。5家庭で20人の旅行者を受け入れて、お大師参りのお接待やうどん打ち、茶道などの体験や、日本の家庭料理を楽しんだりしながら交流を深めました。



名田島地区のチャレンジデー

毎年5月の最終水曜日に世界中で行われるスポーツイベントに山口市は平成25年度から参加し、今年度は、5月31日（水）、東京都狹江市と対戦しました。

名田島地区は、全集落で「ラジオ体操」を行い積極的に取り組みました。また、「生き生きウォーキング」では鑄銭司郷土館の相山館長からご案内をいただき偉人の大村益次郎の史跡を訪ねました。



ねんりんピック山口2017 (山口県健康福祉祭)

5月10日（水）、維新百年記念公園周辺でスポーツ文化交流大会が開催されました。

「ペタンク」の部では名田島地区4チームを含む県下各地から49チームが参加し熱戦が展開されました。名田島Cチームは決勝トーナメントに進出しましたが1回戦で惜敗しました。



平成28年度 一集落一事業

「第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」に基づき、平成26年度から各集落で取り組んでいます。

防災



島上



島下



向山下

環境美化



昭和東・昭和西



西開作上



新開作東

交流



東開作



新開作西



西開作下

会館整備



向山上



新開作沖



今後の名田島地区の行事

- ・7~8月 夏休みラジオ体操
- ・7月22日（土）名田島ちょうちんちょこまつり
- ・8月27日（日）第12回名田島地区自主防災訓練（避難対象集落 向山地区）



名田島の情報発信 (名田島自治会連合会)

- ・フェイスブック……名田島の今を伝えています。
- ・ホームページ……随時更新（自治会連合会だより、田園、地域交流センターだより「なたじま」の各種情報誌も掲載）
- ・自治会連合会だより…毎月、発行
- ・広報誌「田園」……毎年度、3回発行

フェイスブックで交流を！

Facebook jichikairengoukai natajima

検索



名田島「私の趣味・特技」

■頑張れ！優しい鈴の音を鳴らすママ友たち

農業経験のない若いお母さん達が、子育てしながら農業に取り組んでいるグループ（ティンカーベル）を紹介します。

幼稚園の放課後「ママ友たち」は、おしゃべりに費やしていた時間を「何かできないかな」の発想から情報交換もできる協同作業に取り組んでみようと5人のメンバーで始めた。

農業経験はないが、近所のベテラン先輩たちが、惜しげもなく知恵を貸してくださったおかげもあり、野菜の種類も「はなっこりーを始めとし、玉ねぎ、レタス、スイートコーン、トマト」と増えていった。時間が取れたとき、交代での作業と強制でないこともあり参加し易かった。

取材時は丁度「トマト」の収穫時期、若くて優しい「ママの手」で行儀よく箱に並べられた赤いトマトが「いざ、出発」と勢揃い。一ついただくそのまま「ガブリ！」とても甘く愛情たっぷり、新鮮そのもの最高の「トマト」でした。

子育てしながらの活動で、計画どおりいかないこともあるけれど「楽しいよ」ととてもかわいいママ友たちの素敵な笑顔に出会えました。



「みんなの名田島」

各集落の「身近な出来事や風物」の記事と写真を紹介します。

「みんなの名田島」欄に
珍しいこと、情報ニュース等を寄稿下さい。
名田島自治会連合会 083-973-7551

島地区に鎮座する六神社の例祭が5月14日（日）に行われました。当日は好天に恵まれ祭典の後、西開作上の御旅所までの御神幸。それにしても往復1600mの道程は、神輿が重くて肩はもうパンパン…。「若い衆！もっと参加して！」
（島上 末岡範親 氏）



①
4/18撮影



②
5/14撮影



③
5/21撮影



④
4/28撮影

榎野川土手にオニグルミ 写真①バナナの房のような雄しべ

②赤い花は雌しべ ③受粉して実となる。

このオニグルミは上流から流れ着き、自生したようです。

（新開作沖 伊藤米秋 氏）

④生長し長くたれ下がる雄しべ。
場所は百間橋から350mぐらいの下左岸。